

AIやIoTなどに関する研究開発

道内の大学では、AIやIoTなどの先端技術を活用した研究開発が行われています。

このため道では、こうした研究開発の実用化に向けた取り組みを支援し、農林水産業や製造業などさまざまな分野において、生産性の向上や人手不足への対応といった地域課題の解決につながることを目指しています。

その一つとして、11月8日(木)、9日(金)にアークスサッポロで開催される「ビジネスEXPO」において、「道内のAI・IoT」コーナーを設置し、AIを活用した融雪システムや衛星・ドローン画像による農地分析などを紹介し、道内企業などで先端技術を活用した新たな取り組みの創出を促進していきます。

海の中を「見える化」するICT漁業で人と地域に貢献したい。



公立はこだて未来大学 教授
和野 雅昭さん

従来の漁業は自然相手の不安定さがあり、重労働に伴うことから、現場はまさに命がけ。漁師さんの働く環境に役立つ仕事がしたいと、私が15年ほど取り組んでいるのが「ICT漁業」です。

例えば、水温を計測して漁業者にリアルタイムで提供することで養殖業に役立てたり、漁船の動きや毎日の水揚げのデータの「見える化」をすることで、ナマコの分布状況の把握や魚群予測に生かしたりなどができるようになりました。

近年では、漁の現場も様変わりし、高齢の漁師さんがスマホやタブレットを駆使して計画的な出漁の準備や資源管理に役立っています。

「獲る」「売る」「資源を守る」ためにICT漁業の質を高めて経営戦略に生かし、地域の発展に貢献できたらと考えています。

※ICT/情報通信技術



タブレットを使って漁船でデータを共有

ものづくり産業の技術力を強化

北海道立総合研究機構(道総研)工業試験場では、道内企業の新製品・新技術の開発や高付加価値化、生産工程の改善といった取り組みを行うとともに、その成果を活用して、技術相談や技術指導などの支援を行っています。

また、道内各地の産業支援機関と連携した技術支援なども行っています。

こうした取り組みの一環として、11月には食品製造業の生産性向上につながる「ロボラボ」を新設します。また、来年3月には寒冷地対応のIoT製品の開発支援拠点として、低温試験室などを備えた「寒冷地ものづくりラボ」を新設する予定です。

食品業界のロボット導入を支援する道内初の施設が誕生します。



地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター長
飯田 憲一さん

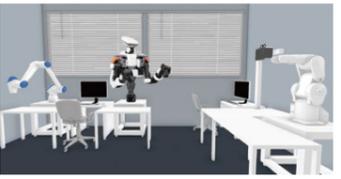
11月20日、道総研の工業試験場内に開所予定の「ロボラボ」は、食品加工現場へのロボット導入を促進する道内初の施設です。

道内の主力である食品製造業は近年、深刻な人手不足に直面しており、ロボット導入による省力化が課題となっています。

そこでこの施設に各種ロボットやセンサーを整備し、実践的な研修を行い、道内食品メーカーにおけるロボット導入の担い手を育成していきます。

また、施設では多品種少量生産や不定形物など、食品加工現場特有の課題に対応したロボットの作業シミュレーションができることから、食品加工現場の技術課題の解決や新たなロボット活用技術の研究開発なども行い、ロボット導入に関する総合的な支援に取り組んでいきます。

※ものづくり支援センター 検索



「ロボラボ」の完成イメージ(画像提供:カワロボティクス㈱)

人工衛星データを活用したビジネスの創出

近年、人工衛星からのデータは、質・量とも大幅に向上しており、AIやIoTなどの新しい技術と結びつくことによって、今後はさらに利用拡大が見込まれています。特に、広大な北海道では、広範囲を把握することのできる衛星データの特徴を生かすことで、農林水産業をはじめ幅広い分野で作業の効率化や農産物などの品質向上につなげるのが期待されています。

このため道では、衛星データを利用した新たなビジネスの創出を図るため、企業、専門家、研究機関、関係団体などとともに「北海道衛星データ利用ビジネス創出協議会」をこし4月に設立しました。この協議会では、衛星データ利用に関する情報提供や会員からの相談への対応、事業化に向けた検討などを進めていきます。

超小型衛星を活用した国際協力で、アジアを取り巻く共通課題に取り組みます。



北海道大学 教授
(北海道衛星データ利用ビジネス創出協議会アドバイザー) 高橋 幸弘さん

これまで、宇宙開発は主に大国の宇宙機関によって行われてきましたが、近年は技術革新や開発コストの低下により、大学の研究室や民間ベンチャー企業なども参加できるほど身近になりました。

私が約20年前から取り組んでいる超小型衛星の開発もその一つ。地上や雲などを世界最高解像度で撮影できるカメラを開発し、波長の短いものから長いものまで約600種類の光を撮影することによって、病気にかかった農作物の場所を特定したり、森林火災の起きやすい場所を見分けることができます。

現在は、アジアで深刻化するこうした課題に対応するため、北大からアジアの新興国8カ国に参加を呼びかけ、国際協力で衛星の運用を共有化する新たな仕組みづくりを進めています。

2014年に打ち上げた50kg級の超小型衛星



ICTなどを活用した働き方改革

意欲や能力のある人がいきいきと働ける環境づくりや、企業の人手不足の解消を図るため、道では「多様な人材の活躍」「就業環境の改善」「生産性の向上」を柱として、働き方改革の取り組みを進めています。

その一環として、道の「ほっかいどう働き方改革支援センター」では、電話や来所による企業の相談に無料で応じるなど、企業が進める働き方改革の取り組みをワンストップで支援しています。

また、近年では、ICTなどを活用した働き方改革に取り組む道内企業も増えており、事例の共有化を進めています。

▶道庁働き方改革推進室 ☎(011)204-5354
▶ほっかいどう働き方改革支援センター ☎0120-495-595(相談専用電話)
ほっかいどう 働き方改革 検索

ICT施工をいち早く導入し、現場の生産性向上に役立っています。



株式会社 砂子組
企画営業部長・ICT施工推進室長 真坂 紀至さん

土木・建築工事を柱とする当社の経営の基本は「人材育成」。少子高齢化に対応するため、建設現場での生産性向上を図ろうと、約10年前から取り組んでいるのが、施工全般でのICT活用(ICT施工)です。

例えば、建築工事の受注から検査・納品までを一元管理するシステムを導入したことで、書類作成の労力が大幅に軽減され、若手社員の活躍の場も増えました。また、土木工事現場でも、複雑な工事情報を三次元データによって「見える化」し、工期短縮や省力化などに役立っています。

こうしたノウハウを次世代に継承するため、当社は、協定先の若見沢農業高校で連携授業を担当しており、ICT施工を農業・土木に生かす指導も行っています。

確認作業などを大幅に削減したICT対応の重機



こんにちは、赤れんが

お問い合わせは ▶マークの窓口、またはホームページへ。

毎年10月は どん子体力アップ強調月間

道と道教育委員会では、毎年10月を「どん子体力アップ強調月間」に設定。学校、家庭、地域、行政が一体となって、子どもたちが体を動かす機会を充実させ、楽しみながら体力向上に取り組むことのできる環境づくりを推進しています。

道内各地で開催されるスポーツイベントのほか、家庭などでできるエクササイズなどがありますので、ぜひ生活に取り入れてみてください。

【短縄跳び選手権】
●日時/10月28日(日) 13~15時
●会場/北海きたえーる(北海道立総合体育センター)
※参加には、当日行われるバンガ北海道vs樺太プレックス戦のチケットが必要です。

【なわとびスキル】
初級から上級、グループ編など、11動画を配信しています。
なわとびスキル 北海道 検索

【チョコット・ダンス】
「短時間でリフレッシュ」をテーマに、手軽に体を動かせるよう考案したダンスエクササイズです。
チョコット または チョコットII 検索

どん子体力アップ強調月間 検索
▶道教育委員会健康・体育課 ☎(011)204-5752

環境道民会議設立20周年記念事業を行います

北海道の環境保全活動の推進を目的とした「環境道民会議」が、設立からことしで20周年を迎えます。

そこで、設立20周年と北海道命名150周年を記念し、植樹会とSDGs(持続可能な開発目標)をテーマとするフォーラムを開催します。

【植樹会】
●日程/10月13日(土)
●会場/道立野幌森林公園
●内容/エゾヤマザクラ150本の植樹

【フォーラム】
●日程/10月10日(水)
●会場/北海道博物館
●テーマ/SDGs

※この事業は全国モーターポート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。
◆参加者募集(植樹会・フォーラム)
環境道民会議 検索
▶道庁環境政策課 ☎(011)204-5188

40歳になったら 特定健康診査の受診を

肥満症、高血圧症、糖尿病などの生活習慣病の多くは自覚症状のないままに進行します。重症化すると、命にかかわる病気を引き起こす危険性も取り得ます。適切な運動、野菜をしっかりと取る食生活、禁煙を心掛けるとともに、40~74歳までが受診できる特定健診で、生活習慣病を予防しましょう。

▶道庁保健医療課 ☎(011)206-6494

住宅・土地統計調査にご協力ください

総務省統計局では、10月1日現在で、住宅・土地統計調査を実施します。

この調査は、国民の住生活に関するさまざまな施策の基礎資料を得ることが目的で、全国約370万世帯(北海道約18万世帯)の方々に無作為抽出して行う大規模な調査です。

調査期間中、統計調査員が調査書類を配布しますので、調査へのご協力をお願いします。

▶道庁統計課 ☎(011)204-5144

赤れんが庁舎改修事業への寄附を募集しています

国の重要文化財でもある北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)は近年、劣化が著しく進行しています。そのため、道では赤れんが庁舎の歴史的価値を保存し、次の世代へ引き継ぐための大規模改修工事を2019年度より実施することとし、ふるさと納税などによる、改修事業への寄附を募集しています。

詳しくはホームページをご覧ください。

赤れんが庁舎改修事業 検索
▶道庁総務部総務課 ☎(011)204-5055

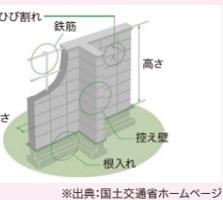
ブロック塀の安全点検のお願い

ブロック塀を所有・管理している方は、防災対策として、次のチェックポイントをもとに、安全点検を行ってください。

1~5をチェックし、一つでも不適合がある場合は危険なので、付近通行者への注意表示など、塀の補修や撤去を行いましょ。塀の内部については専門家に相談してください。

【チェックポイント】
1 塀の高さは地盤から2.2m以下か
2 塀の厚さは10cm以上か
※塀の高さが2m超、2.2m以下の場合には15cm以上
3 塀の長さ3.4m以下以下で、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか
※塀の高さが1.2m超の場合
4 コンクリートの基礎があるか
5 塀に傾き、ひび割れはないか
▶専門家に相談しましょう

●塀の中に直径9mm以上の鉄筋が縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか
●基礎の根入れの深さは30cm以上か
※塀の高さが1.2m超の場合



※出典:国土交通省ホームページ

ブロック塀に関する相談は、お住まいの市町村の建設担当課または各総合振興局・振興局の建設指導課にお問い合わせください。

▶道庁建築指導課 ☎(011)204-5097

まさかには必ずやってくる 防災ガイド

津波は津波のチャイムです! 津波から命を守る五つの約束。

1993年7月に発生した北海道南西沖地震から、こしで25年目を迎えました。

私自身の被災経験から、津波の恐れのある地域では、「揺れたらすぐ高いところに逃げる」ことが何より大切と実感しています。命を守るため、右記のことに気を付けるほか、いざというときの避難ルートや場所について、あらかじめ家族で話し合っておきましょう。

▶道庁危機対策課 ☎(011)204-5008 防災・災害情報は 北海道 危機対策 検索

五つの約束
●(家)に戻るな!
●(迎え)に寄るな!
●(帰りを)待つな!
●(荷物を)持つな!
●(家族を)捜すな!

おすすめ! 地域から

留萌振興局 深川・留萌自動車道全線開通へ

2019年度の深川・留萌自動車道全線開通に向け、留萌エリアを盛り上げようと、「深川・留萌自動車道全線開通地域活性化協議会」が設立されました。

その活動の一環として、11月30日(金)まで「日本海オロロン街道 よくばりスタンプラリー」を実施しています。留萌管内8市町村のイベント、飲食店、道の駅などが対象で、豪華景品が当たるチャンスも。まずは左記のQRコードにアクセスして、ボーナススタンプを手に入れてください!

▶地域政策課 ☎(0164)42-8421

留萌振興局 第9回日本ジオパーク全国大会・アポイ岳大会開催

10月6日(土)~8日(月)に様似町で、日本ジオパーク全体の取り組みの活性化や情報発信などを目的とした「第9回日本ジオパーク全国大会・アポイ岳大会」が開催されます。

期間中、世界ジオパークネットワークのニコラス・ソウロス会長や、漫画「ゴールデンカムイ」アイヌ語監修の千葉大学・中川裕教授による講演のほか、地元物産展やジオパーク体験ワークショップなども予定しています。

▶道庁観光課 ☎(0146)22-9073

道議会

定例会の概要などをお伝えします。

平成30年第2回定例会(6/19~7/6)

■定例会の概要
知事から予算案2件(総額41億7,000万円)と条例案4件、その他の案件3件が提案され議決されました。また、議員及び委員会から提出された決議案1件、意見案8件が原案可決されました。

■主な議決の状況
◎知事提案案件
●予算案 2件
「平成30年度北海道一般会計補正予算(第1号)」など
●条例案 4件 / その他案件 3件
「北海道病院及び診療所の人員及び施設等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案」など
◎議員・委員会提案案件
●決議案 1件
「受動喫煙ゼロの実現を目指す決議」
●意見案 8件
「地方自治体における消費者行政の充実・強化を求める意見書」など

■カルチャーナイト2018(7月20日開催)

カルチャーナイトでは、多くの見学者が道議会を訪れました。当日は、旧議事堂などのパネルを展示し、職員の見学を行いました。

~ホームページをご覧ください~
道議会ホームページでは、議会議程・録画、議会の日程、会議録、傍聴・見学の案内などをご覧いただけます。北海道議会 検索

~議会の詳細について~
道議会では、定例会ごとに質問などの詳細を記載した冊子「北海道議会議事録」を作成しています。
ホームページに掲載されるほか、市町村役場等に配布しています。また、希望者への配布も行っておりますので、下記議会事務局までご連絡ください。
▶議会事務局政策調査課 ☎(011)204-5691